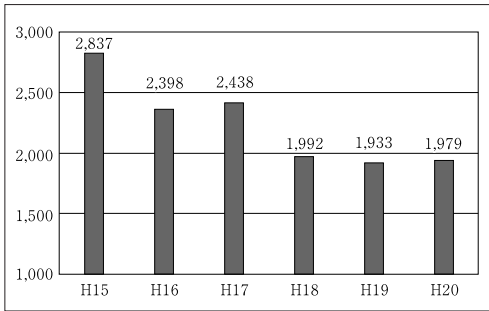


防犯・防災特集	1～4面
救急車の要請は緊急時のみに	5面
地域密着型サービスでより身近な介護を	6面
15万人のひろば	8～9面
おしらせ・9月の相談日	12～13面
9月の休日当番医	16面

■犯罪総数の推移（野田警察署管内）



※対象は空き巣、車両等盗難、ひったくりなどの窃盗犯

野田市域が、平成16、17年度の2年間、警察庁から「地域安全活動パイロット地区」に指定されたことから、市では中央区と南部地区を重点地区に選定し、地域ぐるみで防犯活動に取り組んでいただいた結果、空き巣やひったくりなど、窃盗犯の

防 犯

地域ぐるみの活動を全市域へ

野田市域が、平成16、17年度の2年間、警察庁から「地域安全活動パイロット地区」に指定されたことから、市では中央区と南部地区を重点地区に選定し、地域ぐるみで防犯活動に取り組んでいただいた結果、空き巣やひったくりなど、窃盗犯の

防犯組合支部を核に

支部の設立により、複数の自治会の活動地域にまたがる、広範囲な防犯パトロール活動や定期的な一斉パトロールなど、個別の自主防犯組織では実施が困難な防犯活動も行われています。また、支部内で定期的に会議

北部地区にも「まめぼん」

また市では、事件・事故の発生状況、人口・世帯数などから判断し、本来であれば交番設置が望ましい南部地区（みずき地区）に、交番に準じた施設として、独自に「野田市南部安全安心ステーション」、通称「まめぼん」

防犯・防災特集

10月1日七光台に「第2まめぼん」開設や

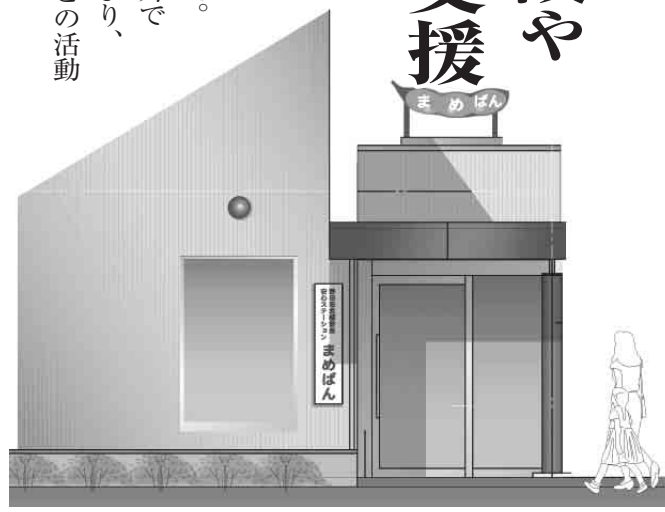
自主防犯・防災組織の設立を支援

地域ぐるみで安全・安心なまちづくりを

市は、平成16、17年度に警察庁から、「地域安全活動パイロット地区」の指定を受け、中央と南部地区で重点的に防犯活動を行った結果、犯罪件数が減ったことから、各地でも自発的に活動が始まりました。防犯への機運をさらに盛り上げ、全市域の活動としていこうと、市では自主防犯組織や防犯組合支部の設立を支援し、さらに南部地区に、交番に準じた施設「まめぼん」を開設。10月には、北部地区にも「まめぼん」を新設し、より一層防犯を強化します。一方、防災では、19年に「地域防災計画」を修正し、水害時の避難場所を見直すとともに、「災害時要援護者支援計画」も策定し、高齢者や障害者の万一の時の避難支援にも取り組んでいます。今後も自主防犯・防災組織の設立を積極的に支援していきます。

犯罪総数が、減少するなどの効果が現れました。さらに、重点地区以外でも、防犯への意識が高まり、自発的にパトロールなどの活動が始まりました。

そこで野田市防犯組合では、防犯への機運をさらに盛り上げようと、自主防犯組織の設立を積極的に支援するとともに、活動を全市域に広げていこうと、自治会の地区連合会を単位とする、16の支部を組織し、支部が核となって、市内全域での防犯活動を展開していただいています。



北部地区の「まめぼん」は七光台地区に（完成予想図）